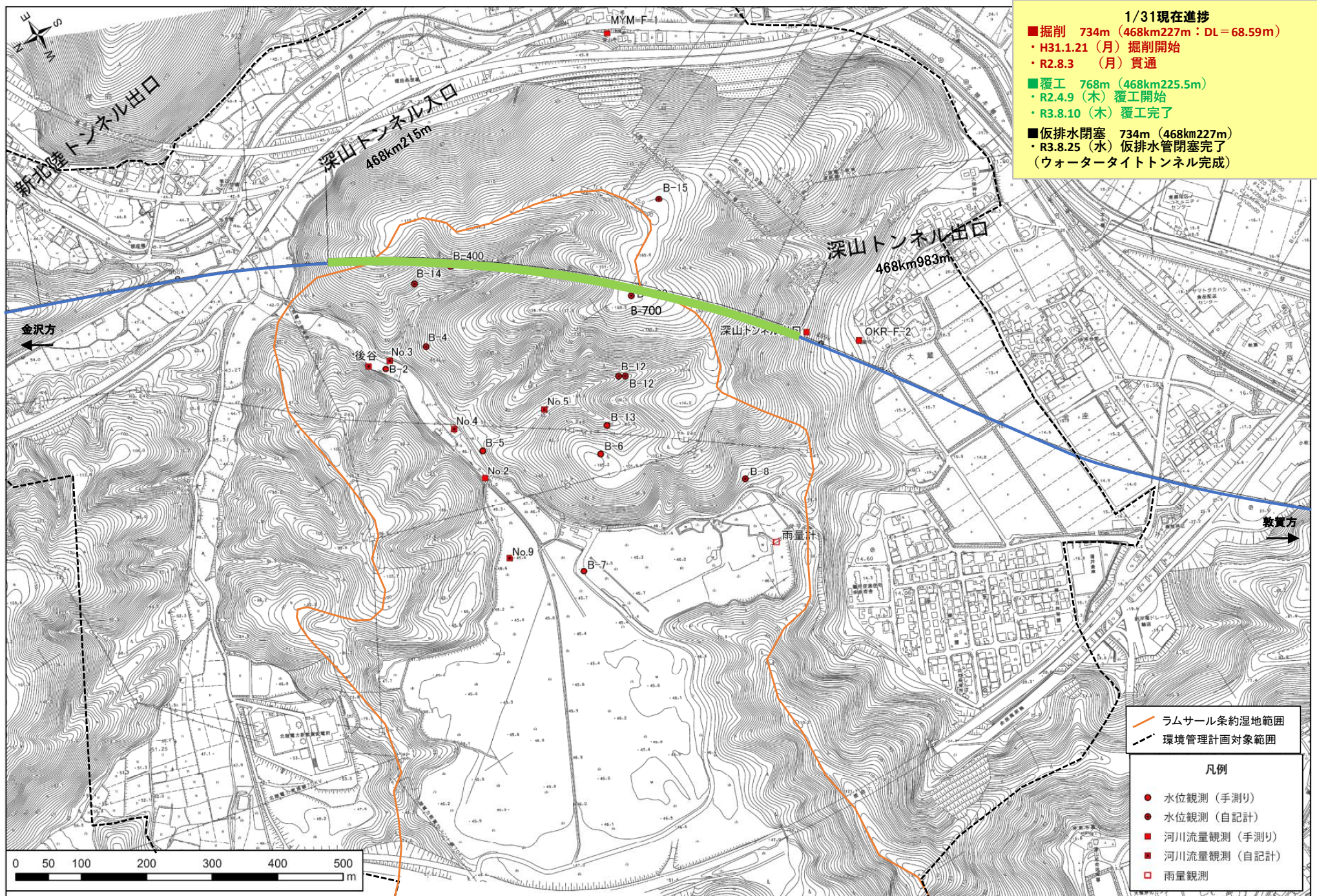


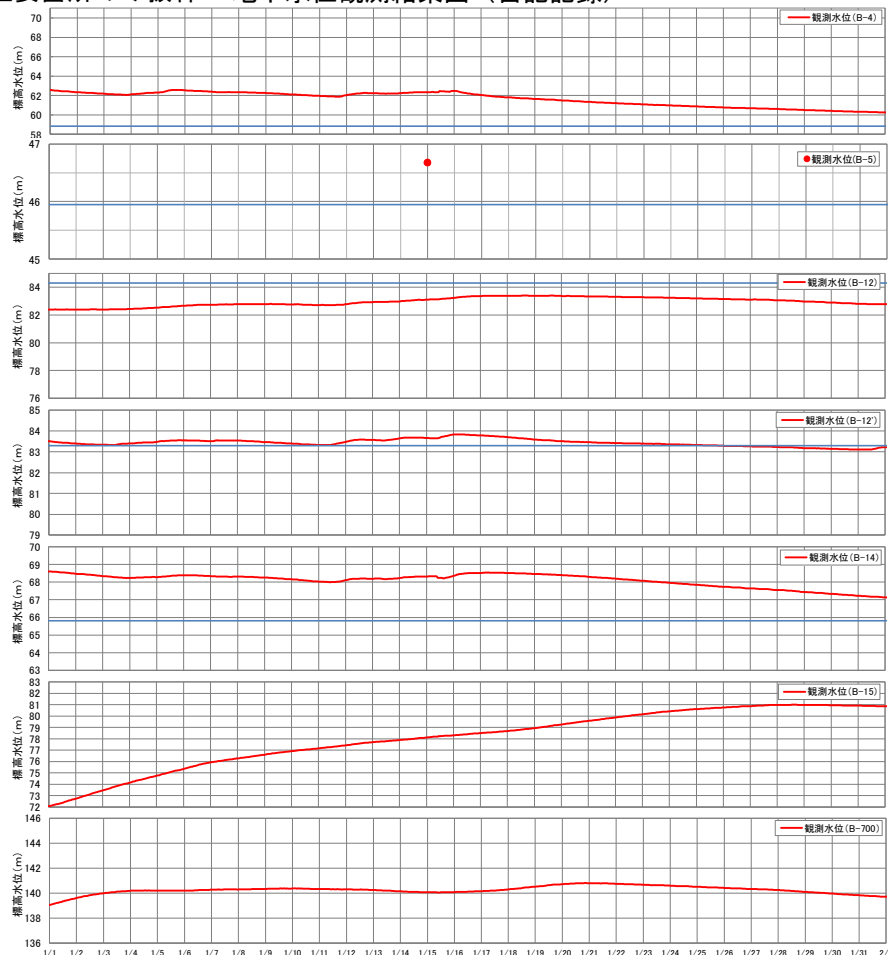
深山トンネル水文調査モニタリング報告書

調査期間：令和7年1月1日（水）～令和7年1月31日（金）

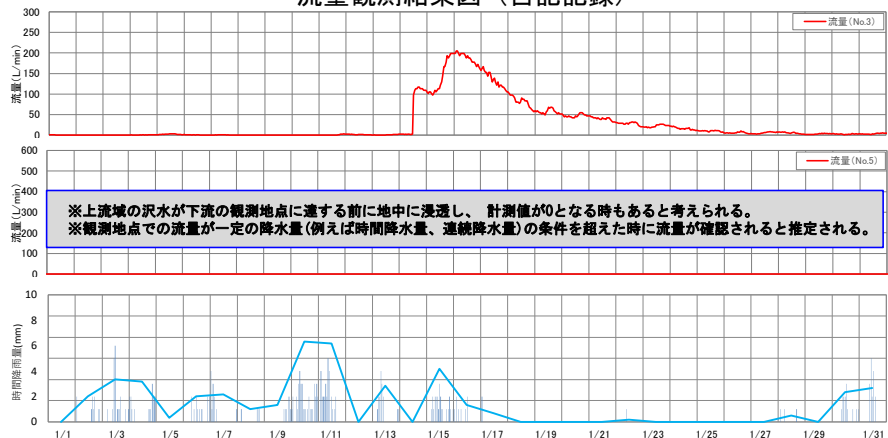
「北陸新幹線、中池見湿地付近深山トンネル等工事に係る環境管理計画」に基づき実施している水文環境モニタリング結果について報告する。



※主要箇所のみ抜粋 地下水位観測結果図（自記記録）



流量観測結果図（自記記録）



B-4 地下水位
過年度最低水位
58.8m

B-5 地下水位
過年度最低水位
46.0m

B-12 地下水位
過年度最低水位
84.3m

B-12' 地下水位
過年度最低水位
83.3m

B-14 地下水位
過年度最低水位
65.8m

B-15 地下水位

B-700 地下水位

No.3 流量

No.5 流量

全体総括

■目立った変動なし □やや変動あり
□変動あり（注意体制への移行を検討）

期間中の地下水位低下量

■1m未満ないし増加：B-4、B-14以外
■2m未満：B-14
■5m未満：B-4 □5m以上：

日降水量

□15mm未満 ■15mm以上（7日） □50mm以上

月降水量

□80mm未満 □80mm以上 □130mm以上 ■200mm以上

概 要

■水位変動について

- ①目立った変動なし。
- ②B-4（自記水位計）：期間中の降雨に反応を示す。月後半の降雨の少ない期間において水位は低下傾向である。過年度最低水位を上回っている。
- ③B-5（手計り）：過年度最低水位を上回っている。
- ④B-12（自記水位計）：期間中の降雨に反応を示す。断続的な降雨により水位が上昇するも1/18以降低下している。過年度最低水位を下回る状態が続くため、今後も注視していく。
- ⑤B-12'（自記水位計）：期間中の降雨に明確に反応を示す。降雨により過年度最低水位付近で変動している。過年度最低水位をわずかに下回る。
- ⑥B-14（自記水位計）：期間中の降雨に反応を示す。月後半の降雨の少ない期間において水位は低下傾向であるが、過年度最低水位を上回る。
- ⑦B-15（自記水位計）：期間中の降雨に反応を示さない。断続的な降雨により水位が上昇している。
- ⑧B-700（自記水位計）：断続的な降雨により、なだらかな水位変動がみられる。月後半の降雨の少ない期間において水位は低下傾向にある。

■流量変動について

- ①No.3（自記）：流量は期間中の降雨後に増加する。期間中、降雨のない時期は流量のない状態が確認される。
- ②No.5（自記）：期間中の流量は0L/minの状態が続く。
⇒無降雨・少雨時や大雨の数日後において、当該地点の上流域の沢水は観測地点に達する前に地中に浸透し、流量の計測値がゼロとなっている状況がある。
⇒当該地点の上流域で一定の降水量の条件(例えば時間降水量、連続降水量)を満たした時に観測地点で流量が確認されると推定される。

■降水量について

- ①12月の日最大降水量：12/27の51.0mmである。
⇒1月の日最大降水量：1/10の38.0mmである。
- ②12月の降水量：406.0mm、1月の降水量：255.0mmである。
昨年12月は291.5mm、1月は201.5mmである。
平年値（敦賀アメダス）は12月は316.7mm、1月は269.5mmである。